

令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録（しいのきホーム）

1. 日 時：令和8年3月11日（水） 14:00 ～ 15:00
2. 場 所：障害者支援施設 落穂寮 管理棟 地域交流室
3. 出席者：
外部委員：3名（地域代表、福祉関係者、グループホーム利用者、利用者家族）
施設側：3名 理事長（グループホーム管理者）、施設長、事務局（進行・記録）
4. 次第：
 1. 開会のあいさつ
 2. 地域連携推進会議の目的説明・自己紹介
 3. 施設概要説明・現状報告
 4. 施設見学
 5. 意見交換
 6. 閉会のあいさつ
5. 議事概要
 - (1) 施設概要および現状報告
種 別：介護サービス包括型（夜間・休日にも必要に応じて支援を行う体制）。
利用状況：定員7名に対し、現在6名が利用中。
運営状況：利用者の自立を尊重し、過度な制限（門限等）を設けず、地域生活の継続を支援している。特定の利用者へのICT機器（見守りタグ）については、現在は生活リズムの安定により使用を終了している。
経済的負担：利用料（家賃・食費・光熱費等）と公費報酬により運営。食費等は実費精算を基本とし、透明性の高い運営に努めている。
課 題：高齢化に伴う通院同行の増加により、限られた人員体制でのやりくりが課題となっている。
 - (2) 施設見学
 - ・グループホームの食堂等の共有スペースの見学を実施。
 - ・家庭的な雰囲気の中での生活環境や、利用者の自立支援に向けた工夫について説明を行った。
 - (3) 意見交換（主な質疑応答）
問：職員が手薄になる休日等の食事や支援はどうしているか。
答：基本は自立支援の観点から自炊やレンジ調理等を活用いただいているが、手厚い支援が必要な区分の方には職員を配置している。必要に応じて外部の移動支援や行動援護サービスも組み合わせ、職員の負担軽減とサービスの質の維持を図っている。
6. 閉会
事務局より、本日の貴重な意見を今後の運営に反映させる旨を伝え、閉会とした。